

「保健医療科学」
第65巻 第6号 予告

特集：CBRN（化学剤，生物剤，核・放射性物質）テロに対する公衆衛生対策の進展（仮題）

CBRNテロ対策の動向（仮題）	田村圭
生物テロ対策：強化サーベイランス 伊勢志摩サミットの経験と今後（仮題）	神谷元
炭疽菌による生物テロへの公衆衛生対応（仮題）	齋藤智也，他
伊勢志摩サミット2016における化学テロ対策の経験と今後の課題（仮題）	水谷太郎，他
放射性物質テロへの公衆衛生対応（仮題）	山口一郎
地方自治体の危機管理—市民を護るために—（仮題）	郡山一明

編 集 後 記

今回の特集のテーマは「研修」であるが，内容は研修のみならず保健師に必要な能力の分析，その段階的分類，実践，研究との連携，管理と業務全般に亘っている。このように多岐に亘る業務に必要な能力を向上させる「研修」は，講義で知識や理論を得るだけでなく，実際の事象を分析し，実践的な改善ができる能力や，様々な困難に立ち向かう力をつけるものでなくてはならない。それには，熱意ある先輩や他地域の実践的な活動を知る機会も重要である。今回の特集では，多くの方々の取組が取り上げられており，さらなる交流のきっかけになることが期待される。

昨今は様々な分野の実践者の人数が削減され，まさにテニスコート上の選手のようになっている場合も多い。テニスの選手は，コーチを心の支えに試合に臨むそうだが，教える側は，コーチとして，また，時には共に戦う選手として，心技体を鍛え，選手を支え続ける必要がある。科学院は様々な地域と国の行政を結ぶ核として，また科学的な知見の核として実践者を支える使命がある。そして，「研修で視野が広がり，人生が変わった」という実践者や今度は教える側に回る方々が今後もさらに増えることを祈念している。

（生活環境研究部 浅見真理）